

調査結果の概要

1 平成29年の概況

～生産・在庫指数は前年より上昇、出荷指数は低下～

○ 鉱工業指数は、生産・在庫ともに前年を上回った（生産110.5〔前年比0.4%上昇〕、在庫127.6〔前年比6.8%上昇〕）。出荷は前年を下回った（出荷107.3〔前年比▲0.3%低下〕）。

～四半期別（季節調整済指数）でみると～

- 生産指数は、平成29年Ⅰ期は3期ぶりに前期を下回り、以降平成29年Ⅲ期まで3期連続で前期を下回ったが、平成29年Ⅳ期は4期ぶりに前期を上回った。
- 出荷指数は、平成29年Ⅰ期は4期ぶりに前期を下回り、以降平成29年Ⅲ期まで3期連続で前期を下回ったが、平成29年Ⅳ期は4期ぶりに前期を上回った。
- 在庫指数は、平成29年Ⅰ期とⅡ期は前期を上回り、平成29年Ⅲ期に3期ぶりに前期を下回ったが、平成29年Ⅳ期は前期を上回った。

(1) 生産

- ・ 生産指数は、110.5(前年比0.4%上昇)。6年連続で前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、一般機械工業（総合）、プラスチック製品工業、非鉄金属工業など10業種で上昇し、電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業、食料品・たばこ工業など8業種で低下した(図2)。

(2) 出荷

- ・ 出荷指数は、107.3(前年比 ▲0.3%低下)。6年ぶりに前年を下回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、電気・情報通信機械工業、一般機械工業（総合）、プラスチック製品工業など9業種で上昇し、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業など9業種で低下した。

(3) 在庫（期末）

- ・ 在庫指数(期末在庫)は、127.6(前年比6.8%上昇)。2年連続で前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、輸送機械工業、化学工業、電気機械工業（総合）など7業種で上昇し、鉱業は横ばい、鉄鋼業、その他製品工業、一般機械工業（総合）など9業種で低下した。

図1 鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

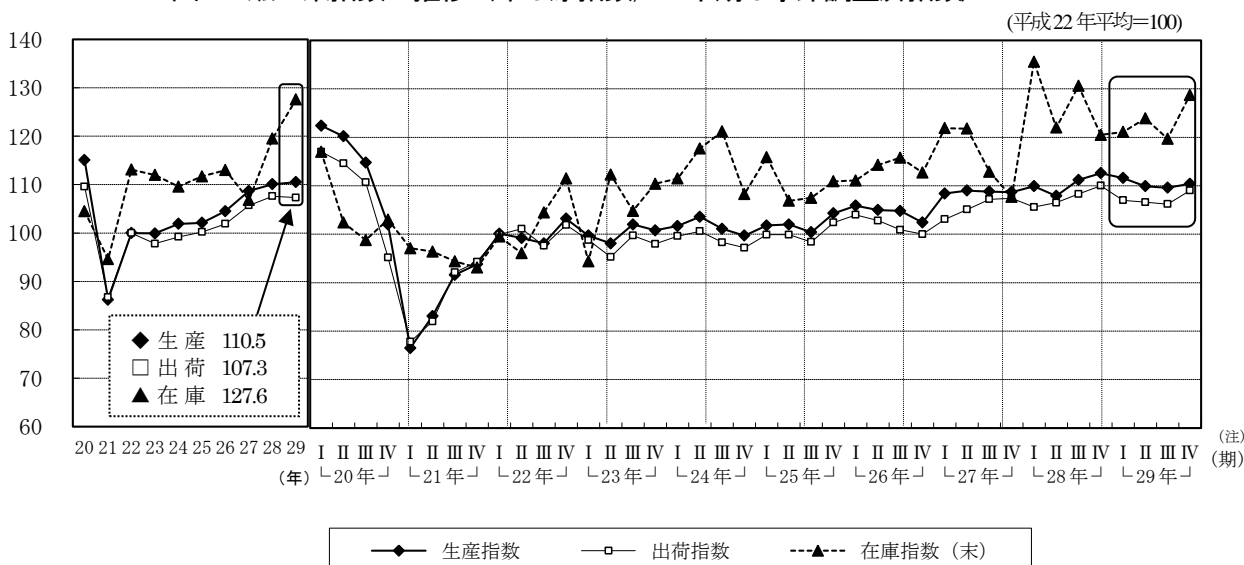
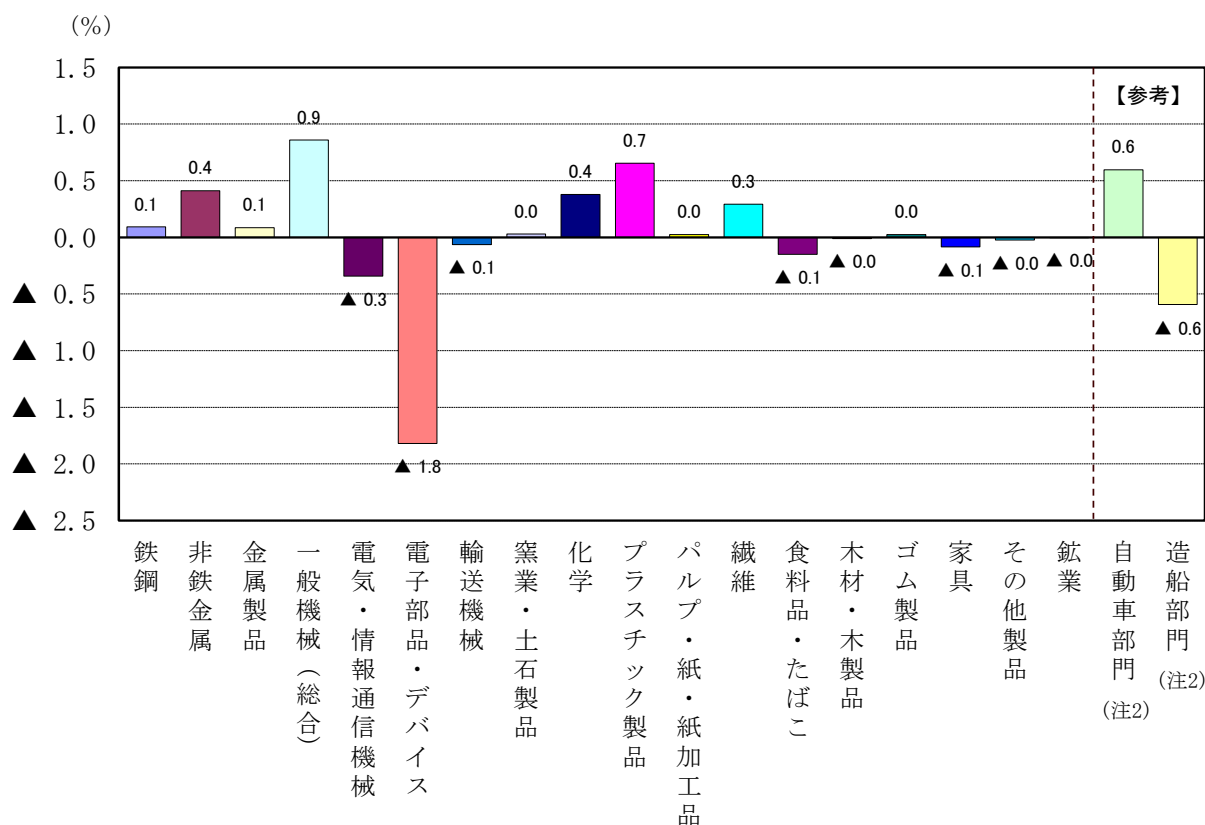


図2 平成29年における生産指数の前年比に対する業種別寄与度^(注1)



(注1) 寄与度とは、指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したもの。

(注2) 「自動車部門」：輸送機械工業18品目のうち、小型自動車など自動車関連12品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具の合計。

「造船部門」：輸送機械工業のうち、船用ディーゼル機関など造船関係5品目の合計。

2 生産の業種別動向（寄与度順）

(1) 前年比が上昇した主な業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
一般機械工業（総合）	5.2%	0.9%	ｼｮｰﾊﾞﾙ系掘削機、半導体製造装置、個装・内装機械
プラスチック製品工業	11.1%	0.7%	光学フィルム、機械器具部品、日用品・雑貨
非鉄金属工業	8.3%	0.4%	アルミニウムダイカスト、アルミニウム鋳物、粗鉛

(2) 前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
電子部品・デバイス工業	▲26.1%	▲1.8%	半導体集積回路、パッシブ型液晶素子（液晶パネル）、液晶用カラーフィルター
電気・情報通信機械工業	▲7.3%	▲0.3%	携帯電話、電気計器、開閉制御装置
食料品・たばこ工業	▲5.2%	▲0.1%	乳飲料、しょうゆ、海藻加工品

3 関連業種別生産指数の推移

機械関連業種は4年ぶりの低下、素材関連業種は4年ぶりの上昇

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると^(注)、平成29年は、機械関連業種は4年ぶりの低下、素材関連業種は4年ぶりの上昇、生活関連業種は2年ぶりの上昇である(図3、4)。

図3 生産指数の前年比の推移

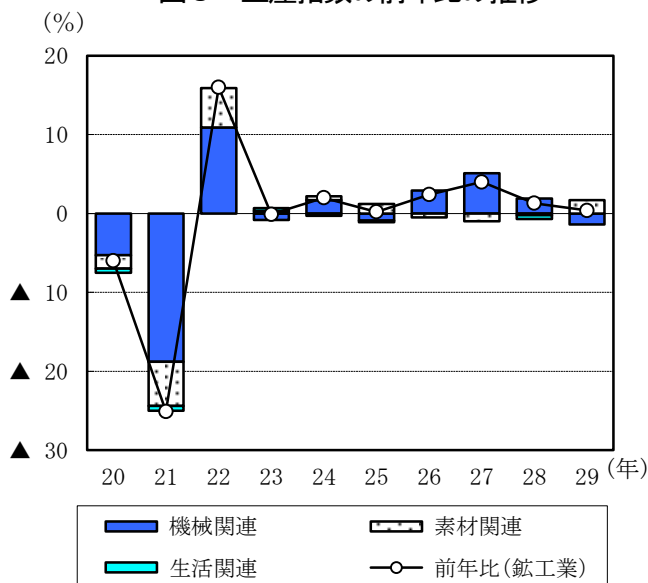
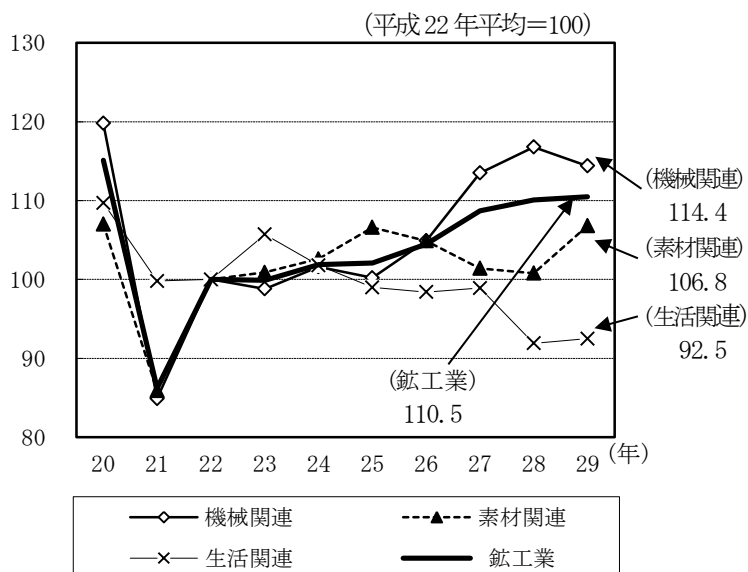


図4 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、化学工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の9業種

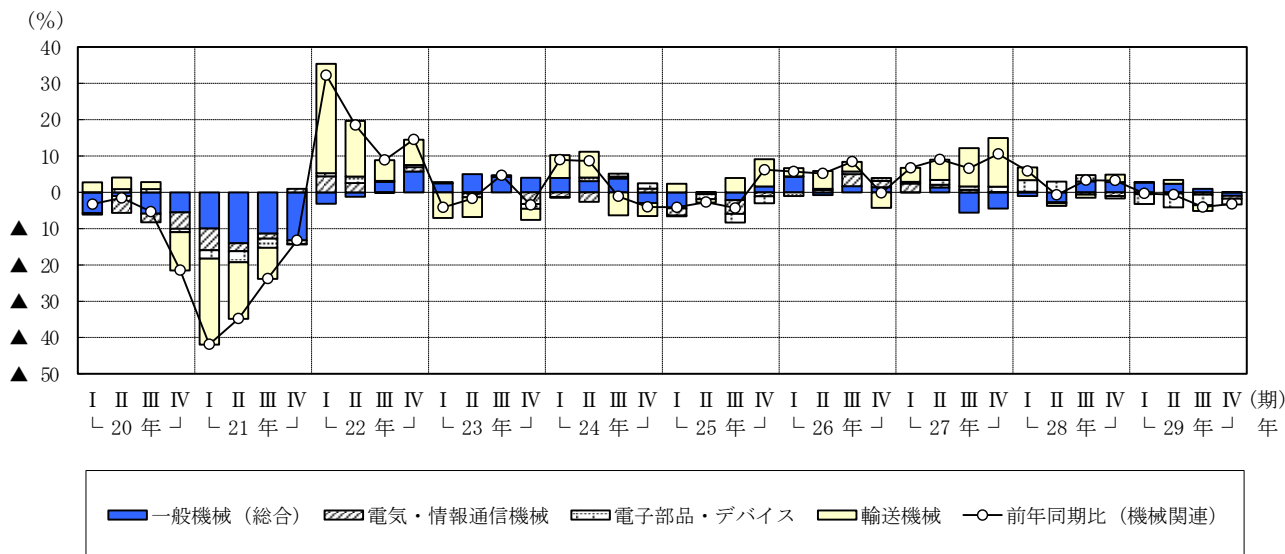
生活関連業種：繊維工業、食料品・たばこ工業、家具工業、その他製品工業の4業種

(1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、平成29年は全期でマイナス

機械関連業種の生産指数は、一般機械工業(総合)、輸送機械工業はともに4期中3期はプラスで推移したが、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業が全期でマイナスに推移したため低下に寄与し、全期で前年同期を下回った(図5)。

図5 生産指数（機械関連業種）の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 一般機械工業（総合）

一般機械工業（総合）は、125.2（前年比 5.2%上昇）。ポンプ，一般用蒸気タービンなどが低下したものの，ショベル系掘削機，半導体製造装置などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると，平成28年Ⅲ期から平成29年Ⅲ期までは5期連続で前年同期を上回ったが，平成29年Ⅳ期に6期ぶりに前年同期を下回った。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は，81.6（前年比 ▲7.3%低下）。自動車用電気照明器具，一般用エンジン発電機などが上昇したものの，携帯電話，電気計器などが低下に寄与した。四半期ごとにみると，平成29年は全期で前年同期を下回り，平成28年Ⅱ期から7期連続で前年同期を下回った。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は，89.3（前年比 ▲26.1%低下）。モス型半導体集積回路（CCD），モス型半導体集積回路（マイコン）などが上昇したものの，半導体集積回路，パッシブ型液晶素子（液晶パネル）などが低下に寄与した。四半期ごとにみると，平成29年は全期で前年同期を下回り，平成28年Ⅳ期から5期連続で前年同期を下回った。

④ 輸送機械工業

輸送機械工業は，119.8（前年比 ▲0.2%低下）。ガソリンエンジン，普通自動車などが上昇したものの，鋼船新造，ディーゼルエンジンなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると，平成28年Ⅳ期から平成29年Ⅱ期まで3期連続で前年同期を上回ったが，平成29年Ⅲ期は4期ぶりに前年同期を下回り，平成29年Ⅳ期は2期ぶりにプラスに転じた。

【参考】自動車部門

自動車部門は，135.2（前年比 1.9%上昇）。ディーゼルエンジン，乗用車用エアコンなどが低下したものの，ガソリンエンジン，普通自動車などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると，平成27年Ⅰ期から平成29年Ⅱ期まで10期連続で前年同期を上回ったが，平成29年Ⅲ期は11

期ぶりに前年同期を下回り、平成29年Ⅳ期は2期ぶりにプラスに転じた。

【参考】造船部門

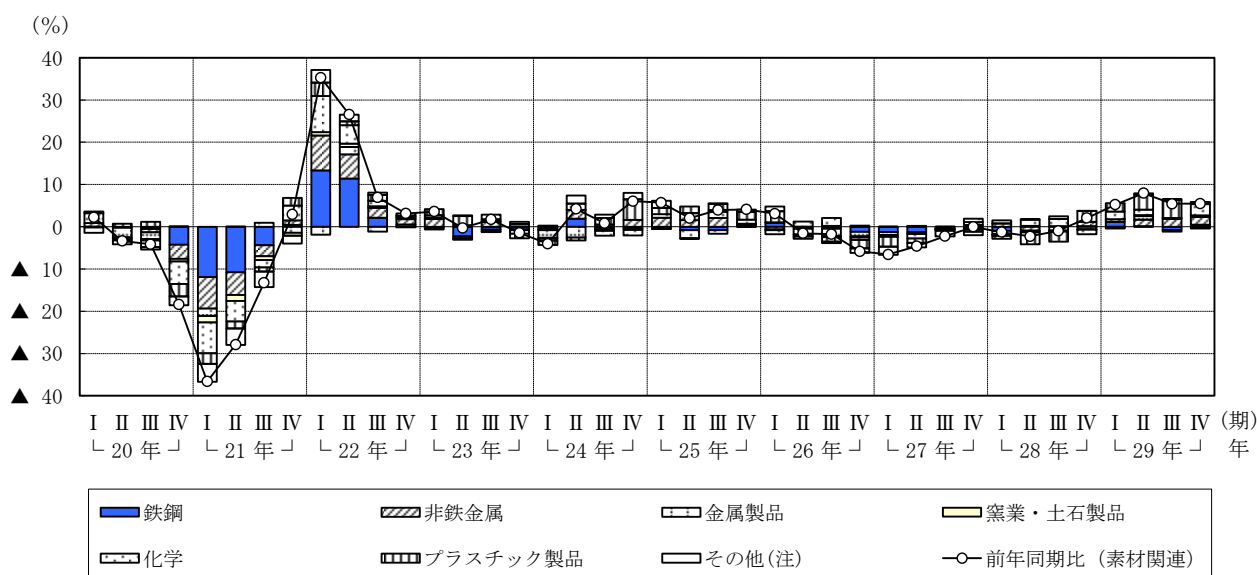
造船部門は、76.0(前年比 ▲9.0%低下)。鋼船修理、船用ディーゼル機関が上昇したものの、鋼船新造、船用蒸気タービンなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年は全期で前年同期を下回り、平成28年Ⅰ期から8期連続で前年同期を下回った。

(2) 素材関連業種の生産指数の推移

素材関連業種の生産指数は、平成29年は全期でプラス推移

素材関連業種の生産指数は、非鉄金属工業は全期で前年同期を上回り、プラスチック製品工業、化学工業は4期中3期で前年同期を上回ったため上昇に寄与し、全期で前年同期を上回った(図6)。

図6 生産指数(素材関連業種)の前年同期比の推移及び業種別寄与度



(注) 「その他」はパルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の合計。

① 鉄鋼業

鉄鋼業の生産指数は、93.2(前年比 1.4%上昇)。鋼半製品、粗鋼などが低下したものの、亜鉛めっき鋼板、特殊鋼・熱間圧延鋼材などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅱ期から平成29年Ⅱ期まで5期連続で前年同期を上回ったが、平成29年Ⅲ期に6期ぶりに前年同期を下回ったものの、平成29年Ⅳ期は2期ぶりにプラスに転じた。

② 非鉄金属工業

非鉄金属工業の生産指数は、130.3(前年比 8.3%上昇)。電気金、銅・銅合金鋳物などが低下したものの、アルミニウムダイカスト、アルミニウム鋳物などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年は全期で前年同期を上回り、平成28年Ⅳ期から5期連続で前年同期を上回った。

③ 金属製品工業

金属製品工業は、76.4(前年比5.4%上昇)。グレーチング、やすりなどが低下したものの、飲料用アルミニウム缶、橋りょうなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年Ⅰ期に5期ぶりにプラスに転じ、平成29年は全期で前年同期を上回った。

④ 窯業・土石製品工業

窯業・土石製品工業は、93.0(前年比2.2%上昇)。セメント、不定形耐火物などが低下したものの、生コンクリート、ほうろう鉄器製品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年Ⅲ期から平成29年Ⅰ期まで11期連続で前年同期を下回ったが、平成29年Ⅱ期に12期ぶりにプラス転じ、以降平成29年Ⅳ期まで3期連続で前年同期を上回った。

⑤ 化学工業

化学工業は、111.3(前年比9.1%上昇)。医薬品、環境保全用触媒などが低下したものの、メタクリル酸エステル・モノマー、酸化第二鉄などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年Ⅰ期～Ⅱ期は前年同期を上回ったが、平成29年Ⅲ期は3期ぶりに前年同期を下回り、平成29年Ⅳ期は2期ぶりにプラスに転じた。

⑥ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、118.8(前年比11.1%上昇)。容器、発泡製品などが低下したものの、光学フィルム、機械器具部品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅳ期から平成29年Ⅲ期まで4期連続で前年同期を上回ったが、平成29年Ⅳ期に5期ぶりに前年同期を下回った。

⑦ パルプ・紙・紙加工品工業

パルプ・紙・紙加工品工業は、84.8(前年比2.7%上昇)。情報用紙、非塗工・特殊印刷用紙などが低下したものの、包装用紙、製紙パルプなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅲ期から平成29年Ⅲ期まで5期連続で前年同期を上回ったが、平成29年Ⅳ期に6期ぶりに前年同期を下回った。

⑧ 木材・木製品工業

木材・木製品工業は、120.9(前年比▲0.7%低下)。特殊合板が上昇したものの、製材品が低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年Ⅰ期は5期ぶりに前年同期を下回り、平成29年Ⅱ期も前年同期を下回ったものの、平成29年Ⅲ期～Ⅳ期は前年同期を上回った。

⑨ ゴム製品工業

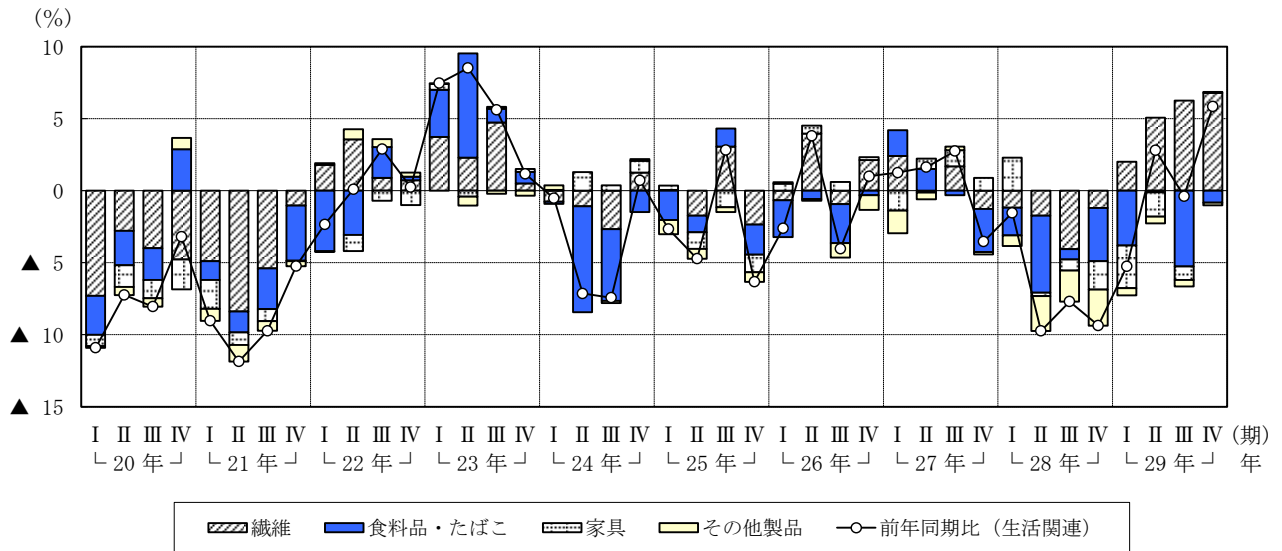
ゴム製品工業は、114.2(前年比1.7%上昇)。運動競技用品ゴム製品、更生タイヤ用練生地が低下したものの、工業用ゴム製品、ゴム製履物などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年Ⅰ期とⅢ期は前年同期を下回り、平成29年Ⅱ期とⅣ期は前年同期を上回った。

(3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、平成29年Ⅱ期に7期ぶりにプラス

生活関連業種の生産指数は、繊維工業は全期プラスで推移したが、食料品・たばこ工業、その他製品工業が全期マイナスで推移したため、平成29年Ⅰ期とⅢ期は前年同期を下回り、平成29年Ⅱ期とⅣ期は前年同期を上回った(図7)。

図7 生産指数(生活関連業種)の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 繊維工業

繊維工業は、119.2(前年比 14.2%上昇)。染色整理、漁網・陸上網などが低下したものの、再生・半合成繊維、短繊維、綿糸などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年Ⅰ期に6期ぶりにプラスに転じ、平成29年は全期で前年同期を上回った。

② 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業の生産指数は、83.2(前年比 ▲5.2%低下)。清涼嗜好飲料、みそが上昇したものの、乳飲料、しょうゆなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年は全期で前年同期を下回り、平成27年Ⅲ期以降10期連続で前年同期を下回った。

③ 家具工業

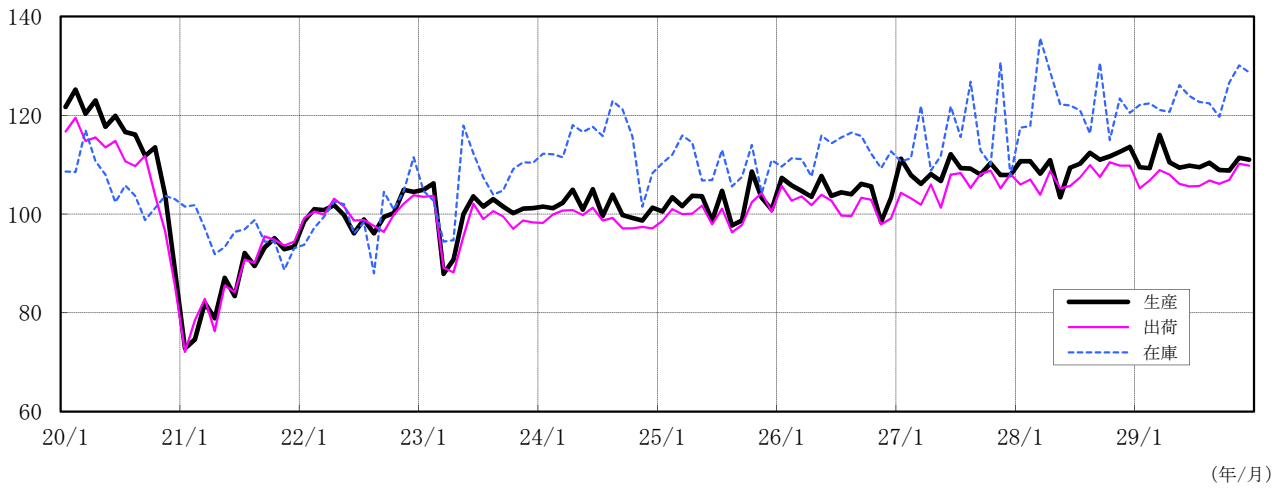
家具工業は、91.0(前年比 ▲15.1%低下)。木製ベッドが上昇したものの、その他の金属製家具、その他の木製家具などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅱ期から平成29年Ⅲ期までは6期連続で前年同期を下回ったが、平成29年Ⅳ期に7期ぶりにプラスに転じた。

④ その他製品工業

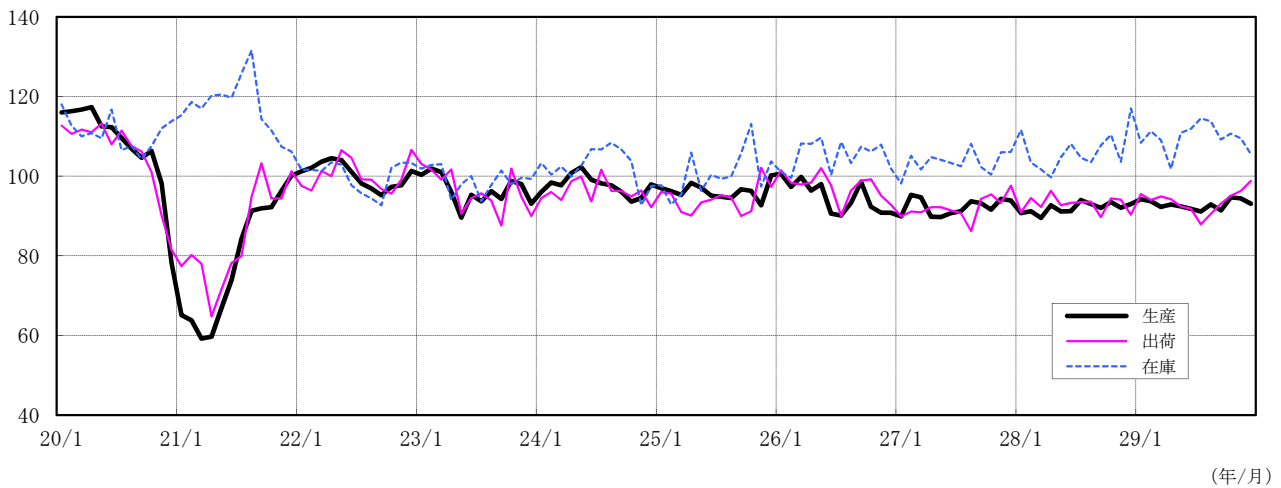
その他製品工業は、59.3(前年比 ▲5.6%低下)。シャープペンシルが上昇したものの、平版印刷(オフセット印刷)、ボールペンなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年は全期で前年同期を下回り、平成27年Ⅳ期以降9期連続で前年同期を下回った。

4 業種別季節調整済指数の推移（平成22年平均＝100）

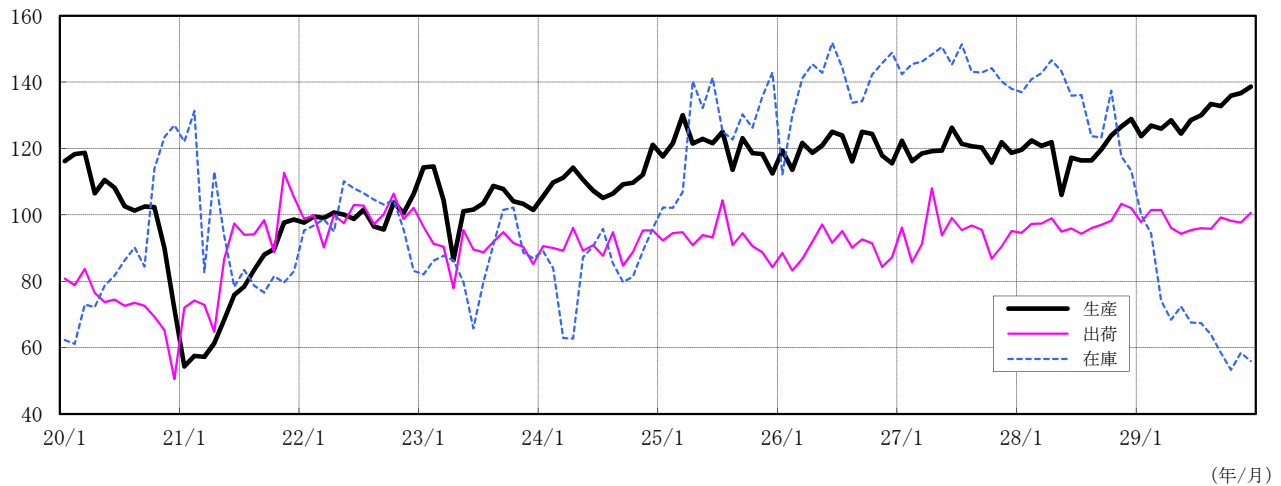
鋳工業（付加価値額ウェイト＝10000.0）



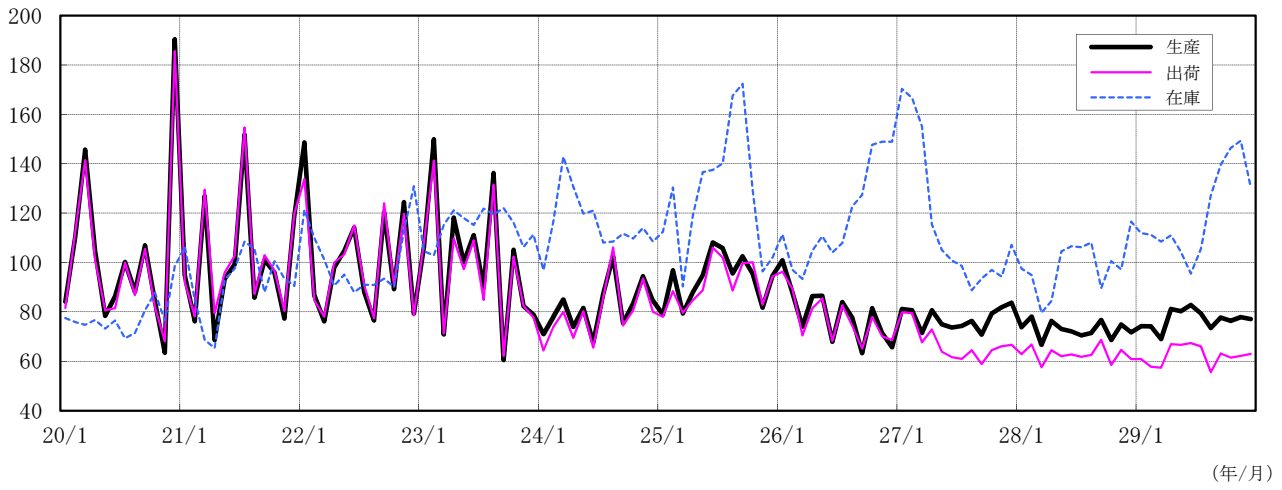
鉄鋼業（付加価値額ウェイト＝778.5）



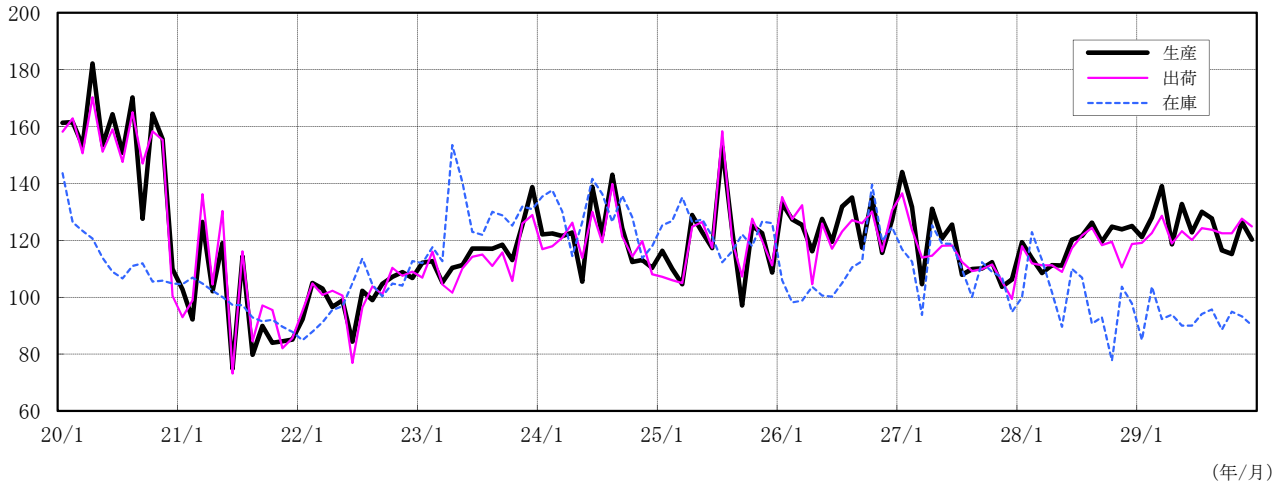
非鉄金属工業（付加価値額ウェイト＝454.1）



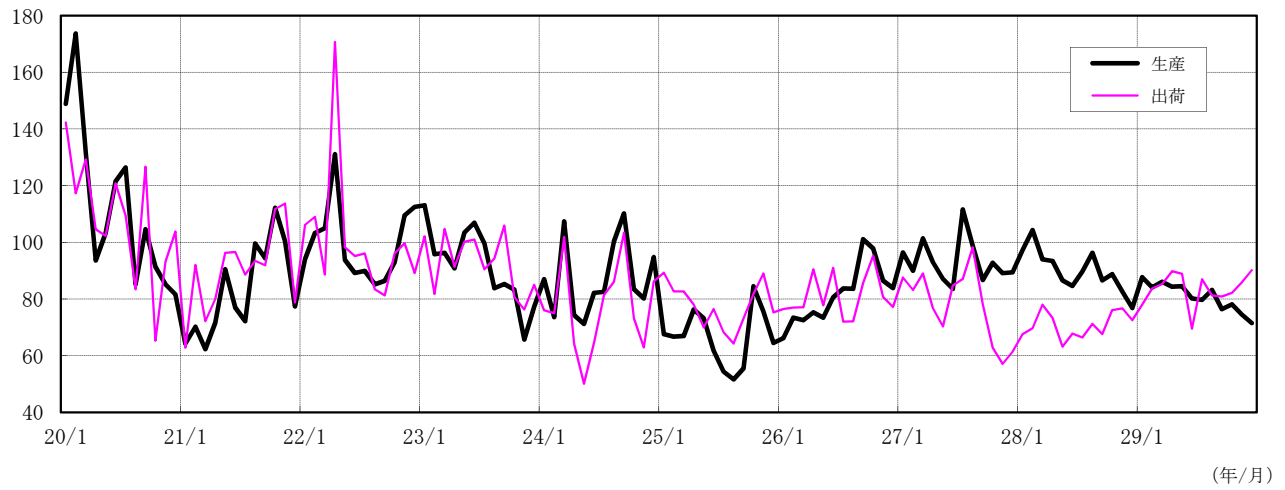
金属製品工業（付加価値額ウエイト＝241.6）



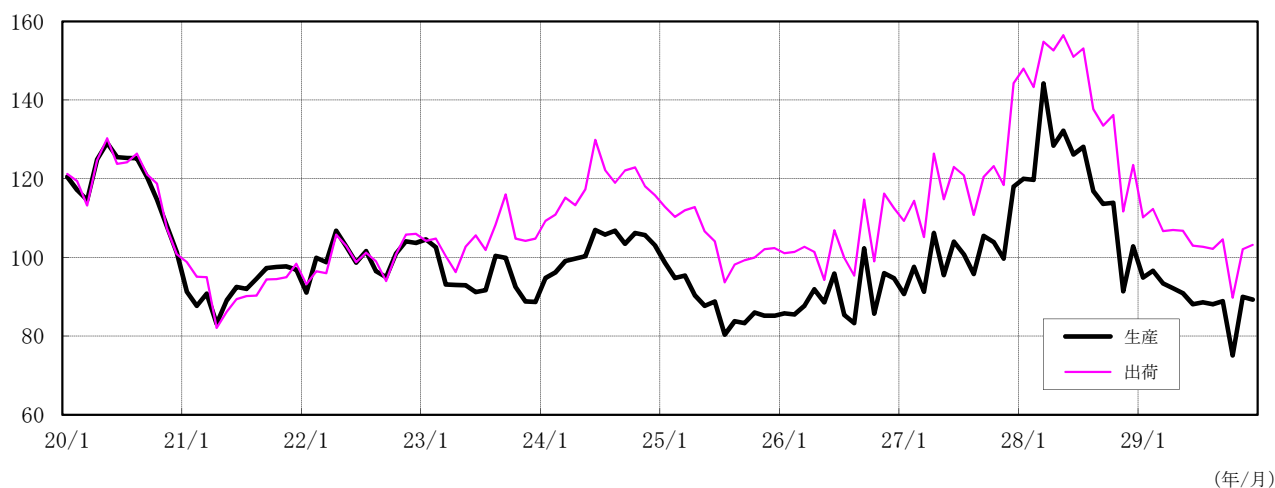
一般機械工業（総合）（付加価値額ウエイト＝1526.6）



電気・情報通信機械工業（付加価値額ウエイト＝589.9）

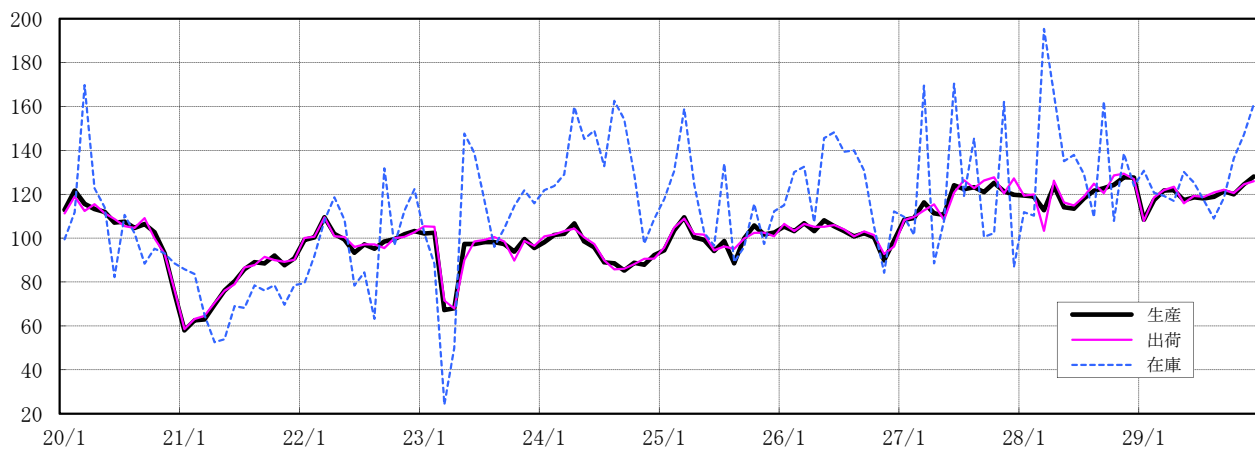


電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト＝635.9）



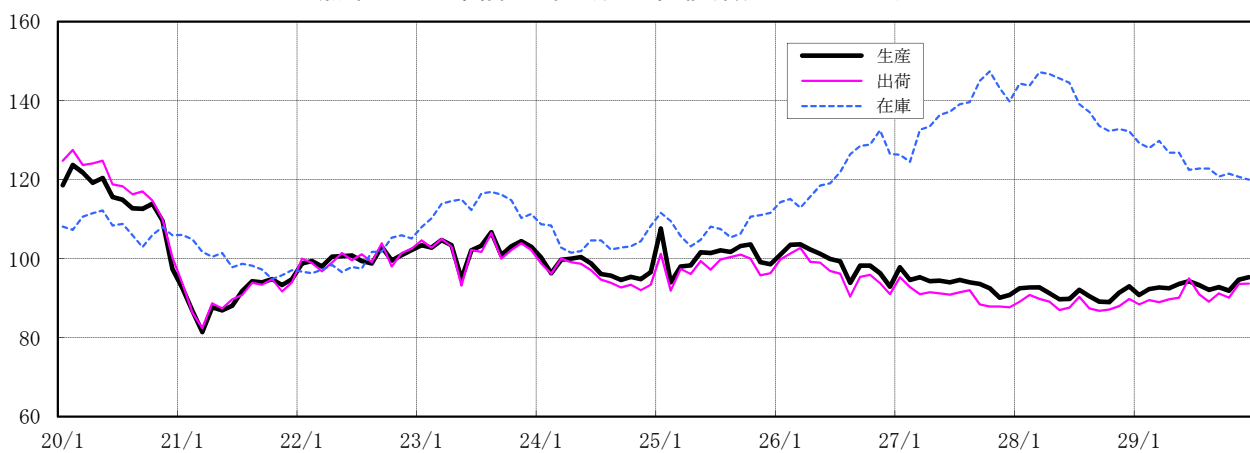
(年/月)

輸送機械工業（付加価値額ウェイト＝3467.7）



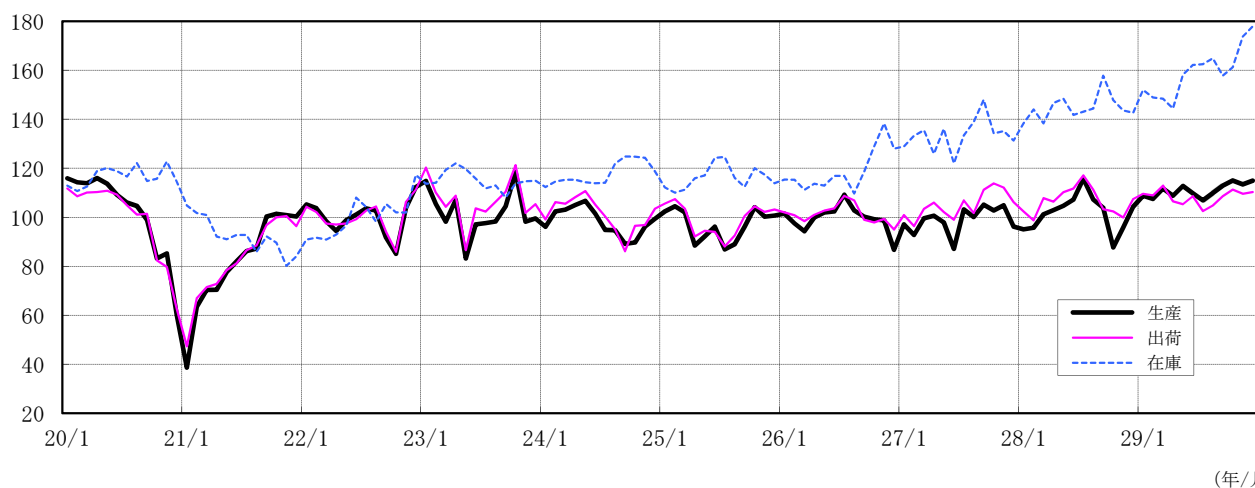
(年/月)

窯業・土石製品工業（付加価値額ウェイト＝157.0）

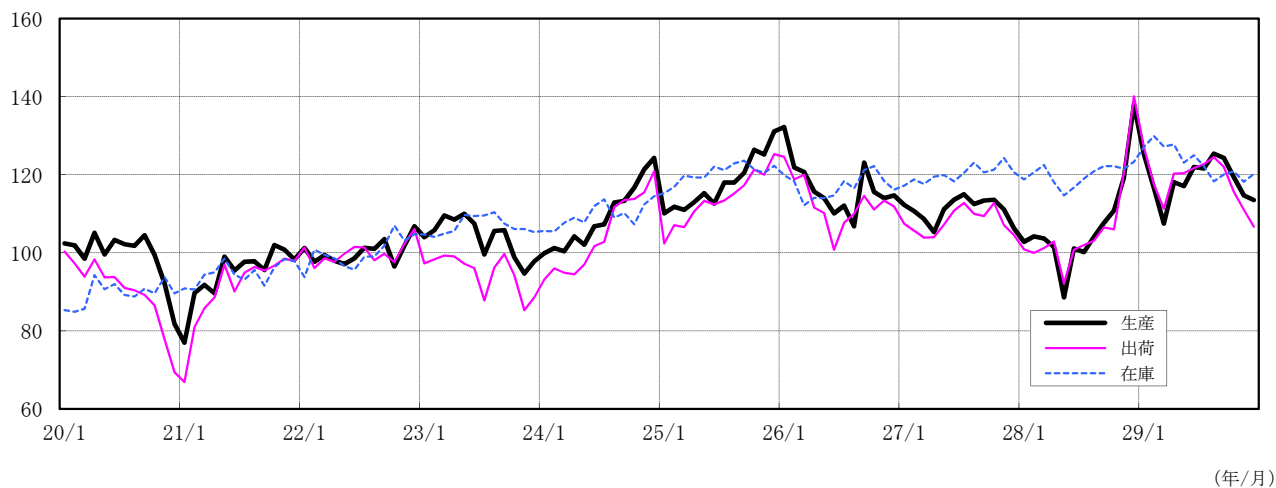


(年/月)

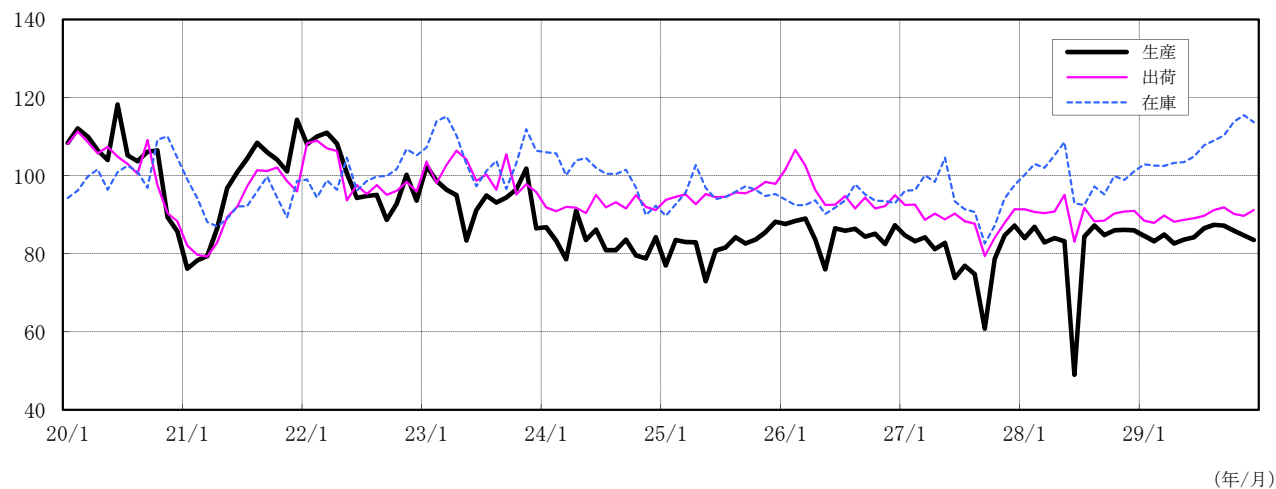
化学工業（付加価値額ウェイト=447.1）



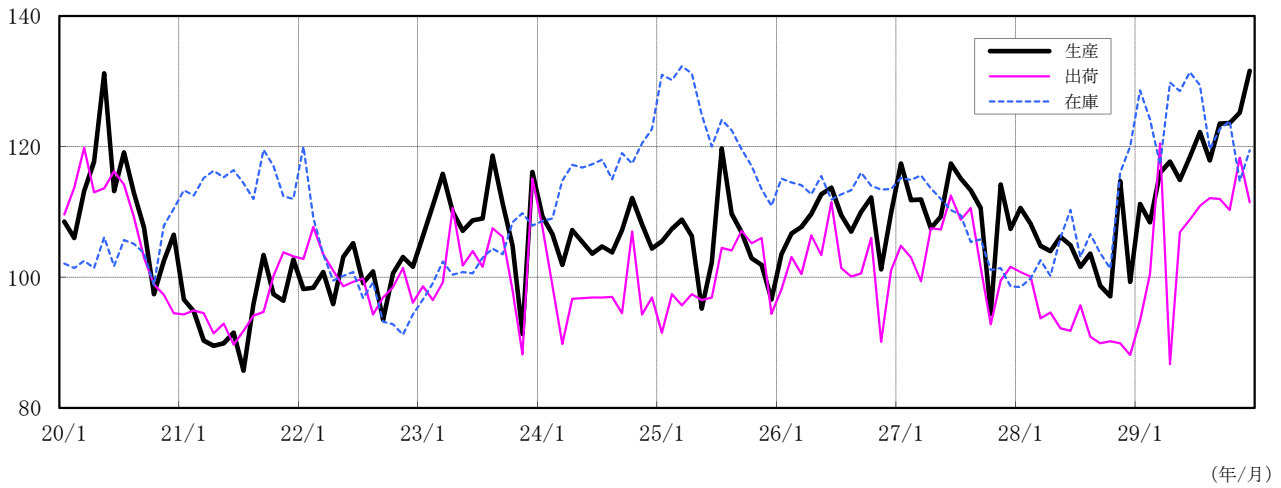
プラスチック製品工業（付加価値額ウェイト=604.6）



パルプ・紙・紙加工品工業（付加価値額ウェイト=118.1）

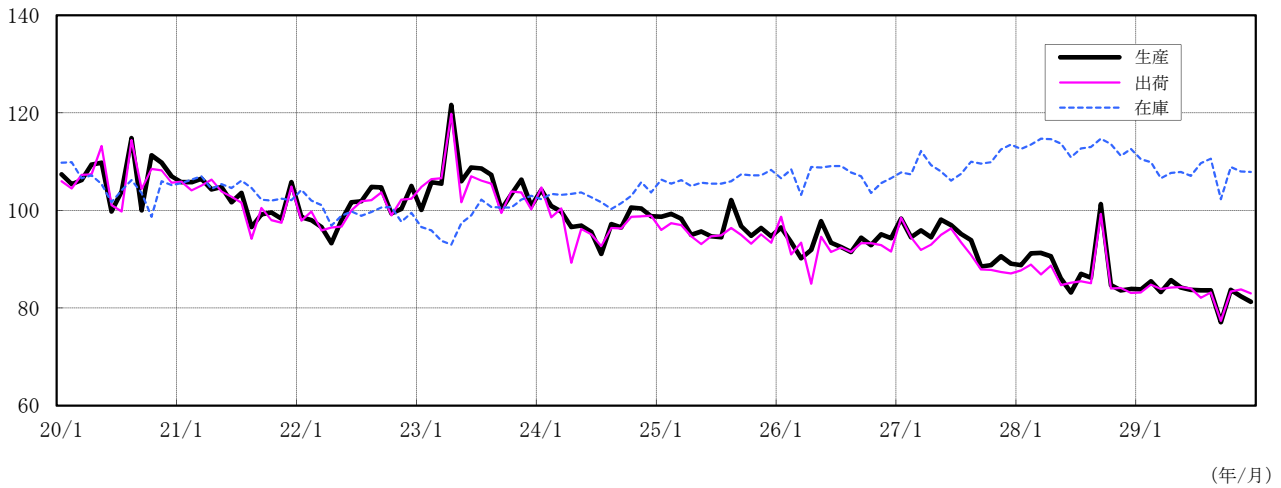


繊維工業（付加価値額ウェイト＝217.7）



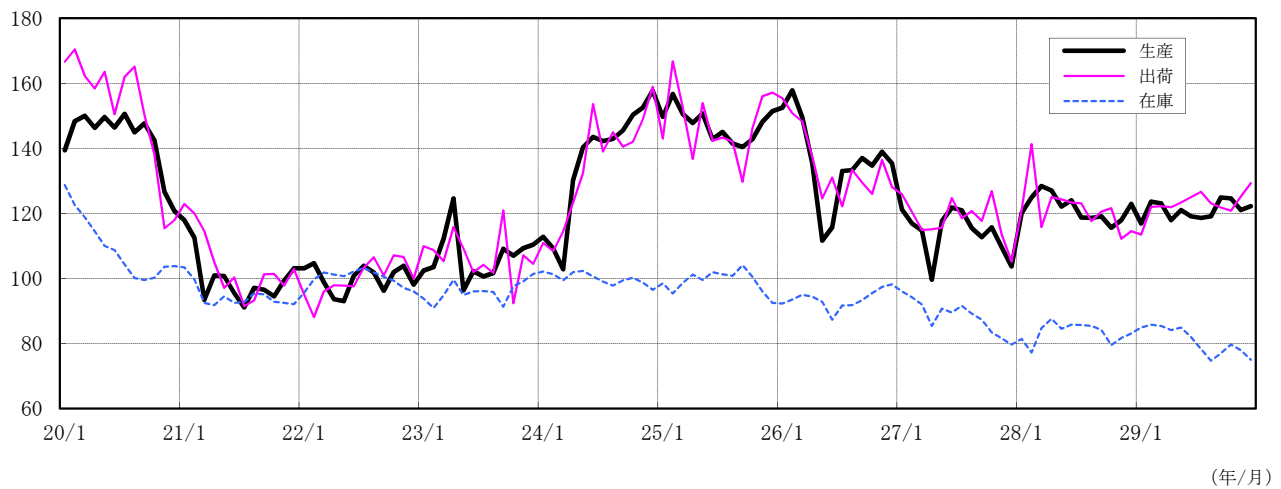
(年/月)

食料品・たばこ工業（付加価値額ウェイト＝357.0）



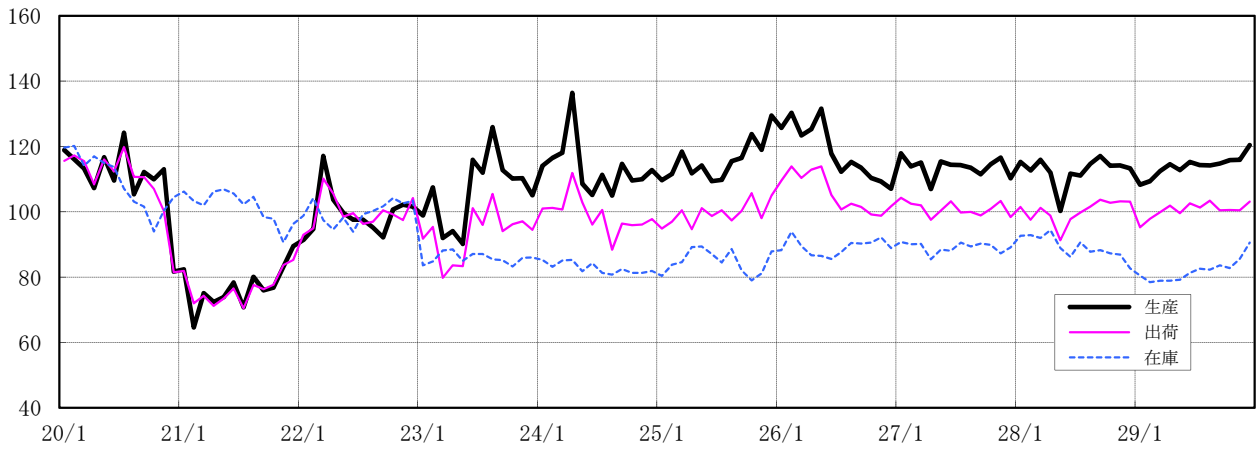
(年/月)

木材・木製品工業（付加価値額ウェイト＝132.8）



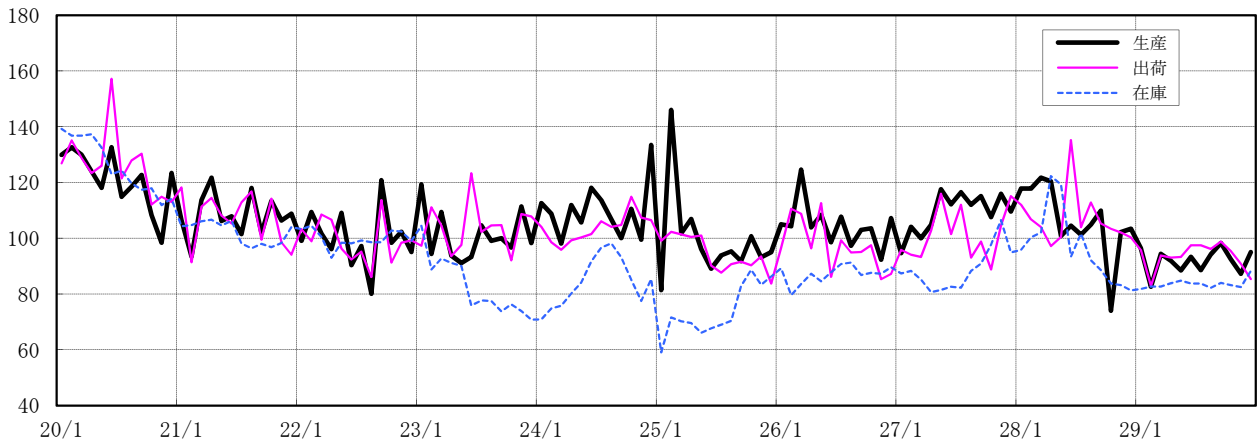
(年/月)

ゴム製品工業（付加価値額ウェイト＝139.2）



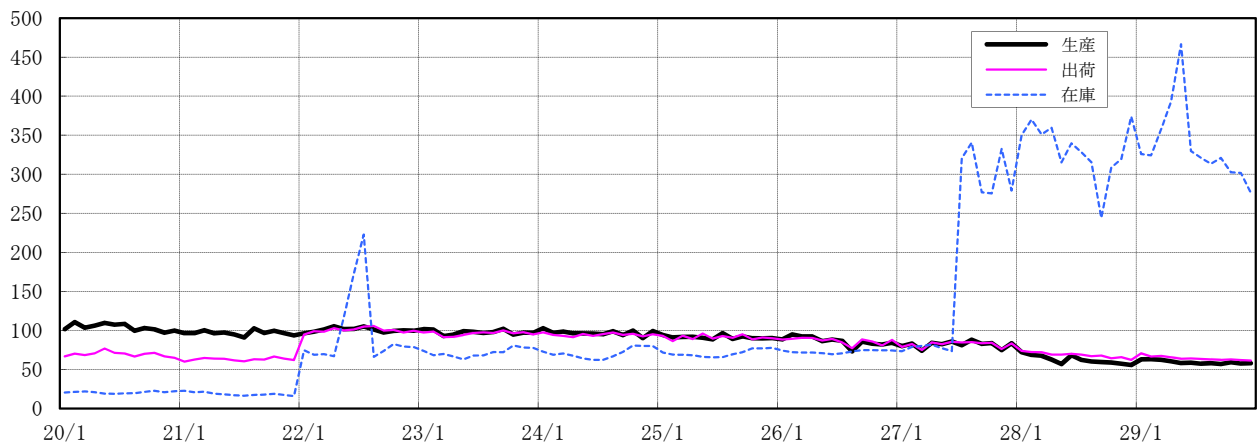
(年/月)

家具工業（付加価値額ウェイト＝57.8）



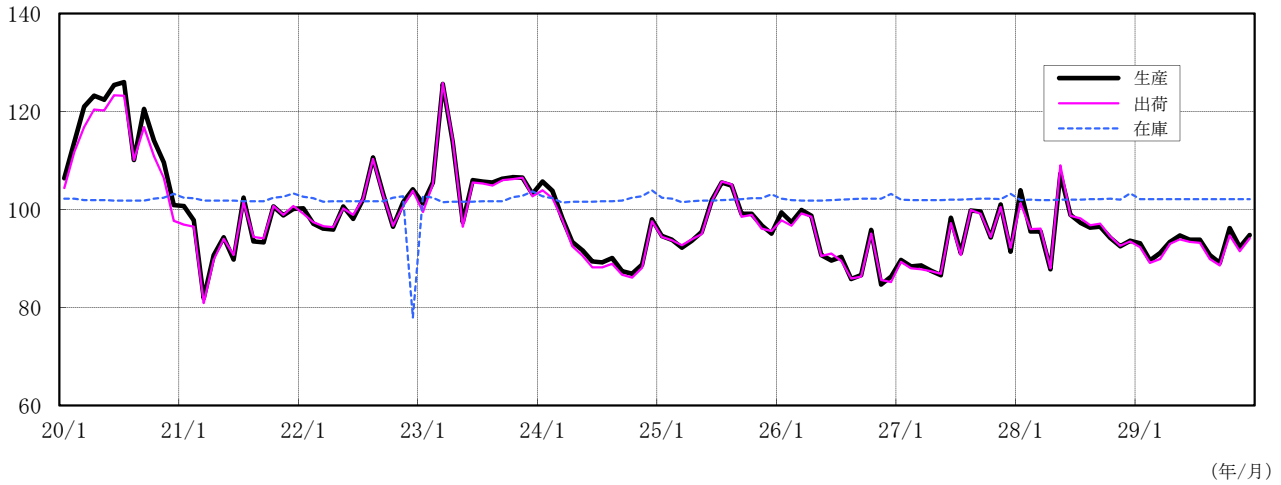
(年/月)

その他製品工業（付加価値額ウェイト＝72.5）

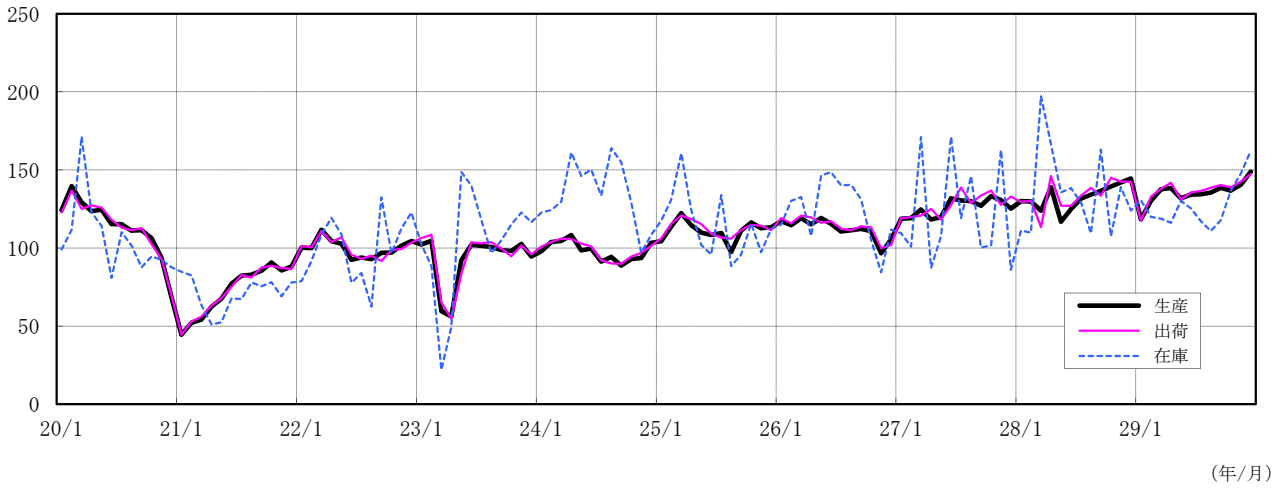


(年/月)

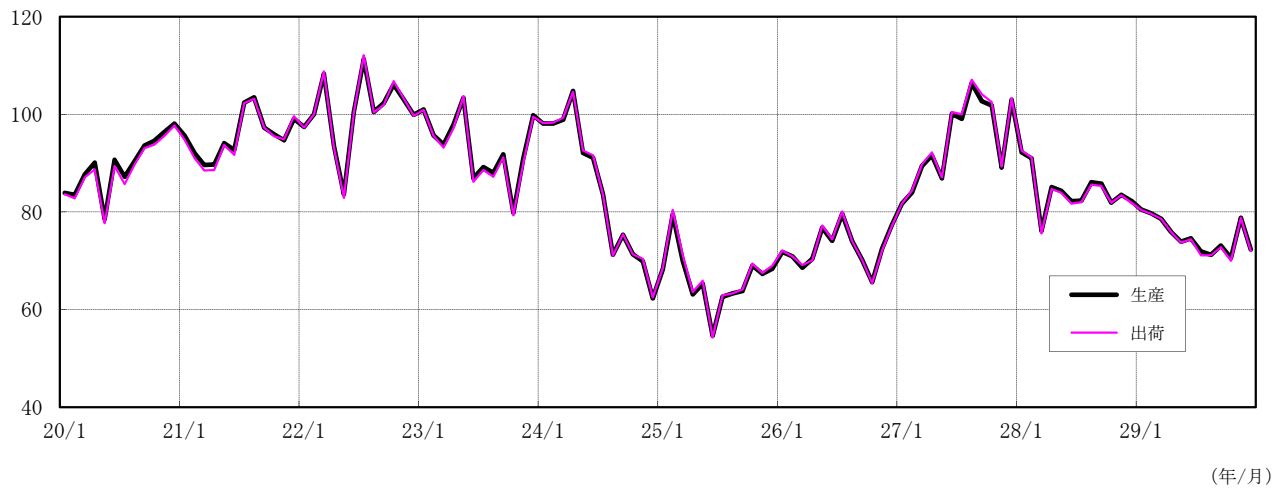
鉱業（付加価値額ウェイト=1.9）



【参考】自動車部門（付加価値額ウェイト=2624.8）



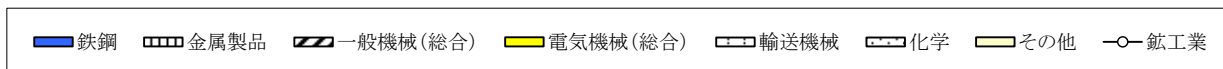
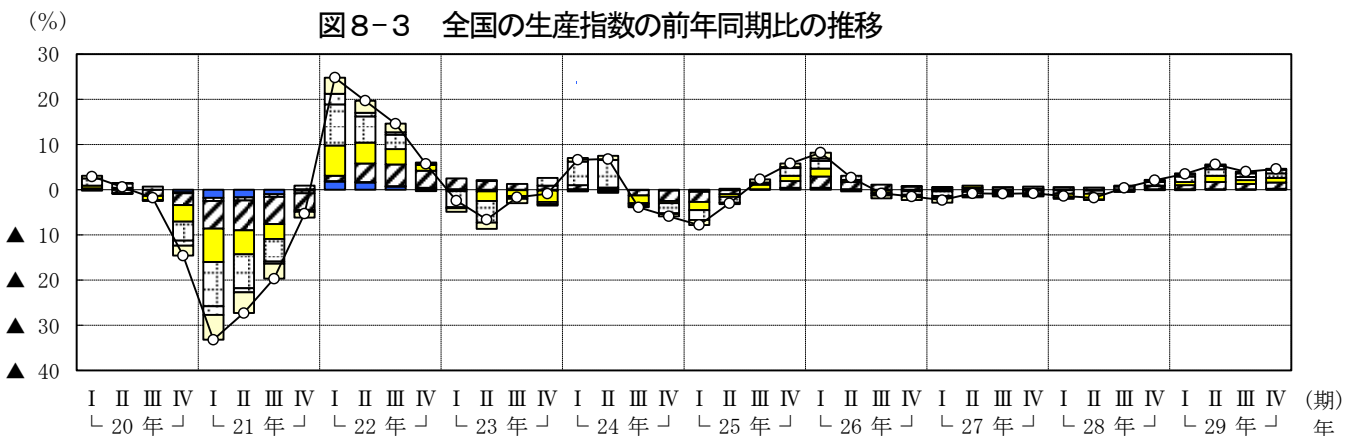
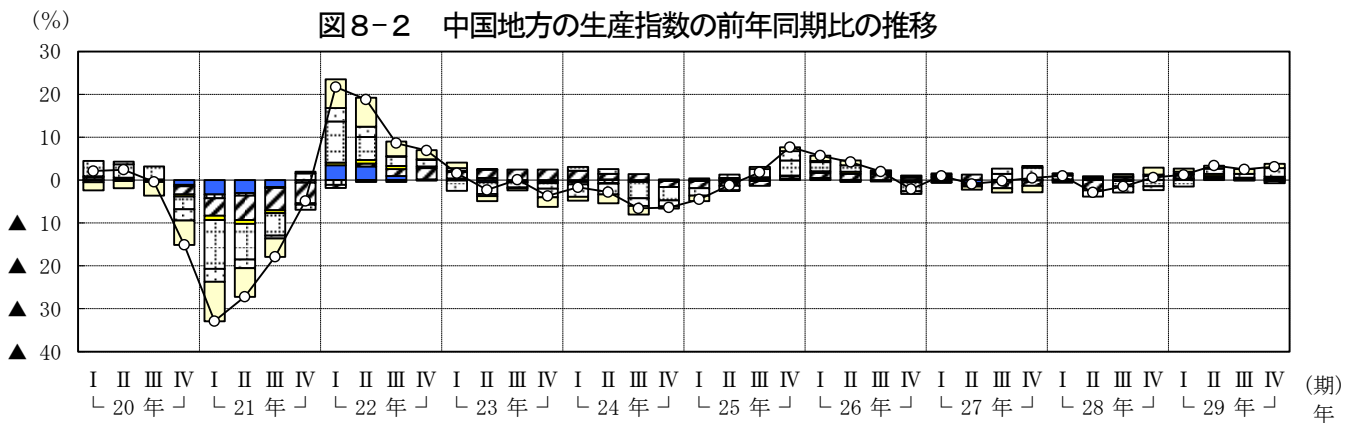
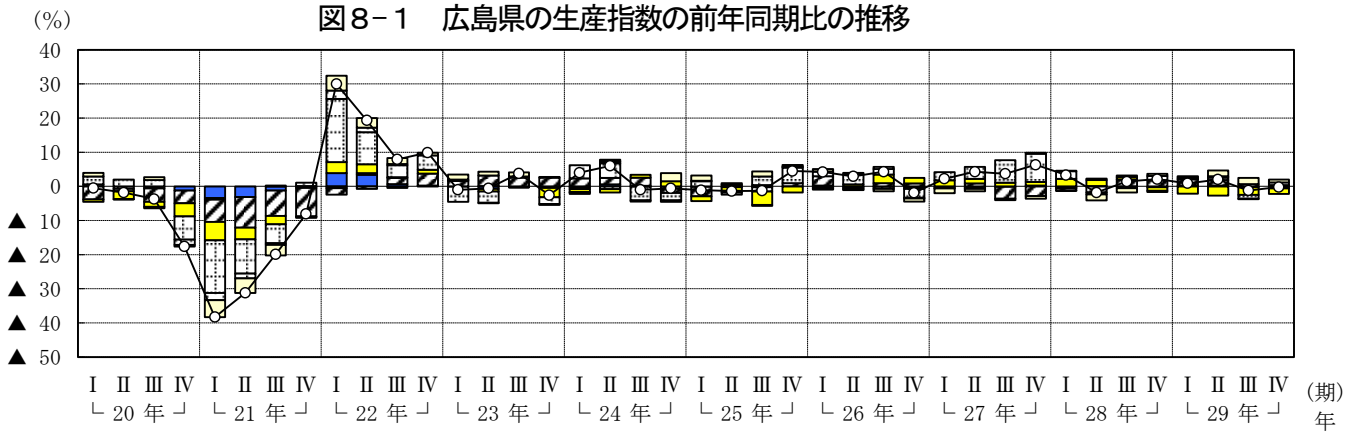
【参考】造船部門（付加価値額ウェイト=871.0）



5 広島県、中国地方及び全国における生産指数の推移

平成 29 年を四半期ごとにみると(図 8), 広島県ではⅠ期～Ⅱ期は前年同期を上回ったが, Ⅲ期～Ⅳ期は前年同期を下回った。中国地方では全期で前年同期を上回った。全国では全期で前年同期を上回った。

広島県の前年同期比は, 平成 29 年は全期で中国地方の前年同期比を下回った。



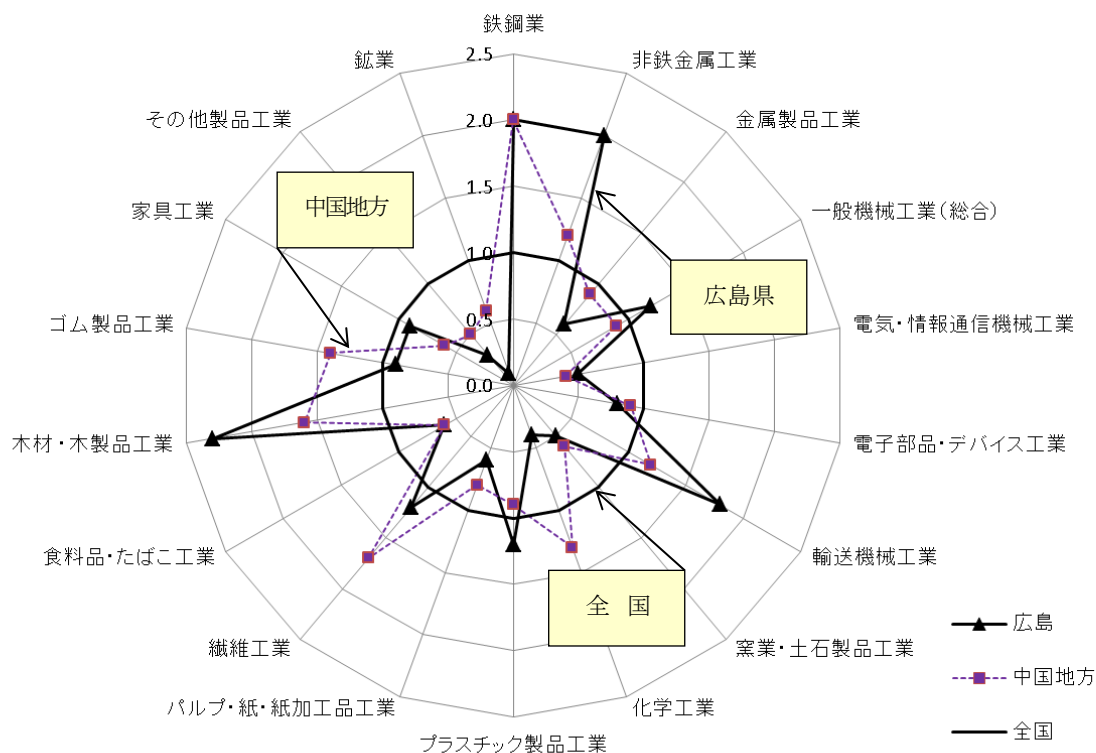
出所: 中国地方…「中国地域工業生産動向」(経済産業省中国経済産業局) 全国…「鉱工業生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)

参考 生産指数の付加価値額ウェイト(平成22年基準)について

特化係数^(注)を用いて、広島県の業種のウェイトが、全国や中国地方と比較してどの程度の偏りがあるか見てみると(図9)、全国との比較では、鉄鋼業、非鉄金属工業、輸送機械工業、木材・木製品工業の特化の度合いが大きい一方、金属製品工業、電気・情報通信機械工業、窯業・土石製品工業、化学工業、食料品・たばこ工業、鉱業の特化の度合いが小さい。中国地方との比較では、非鉄金属工業、輸送機械工業、木材・木製品工業の特化の度合いが大きい、金属製品工業、化学工業、繊維工業、ゴム製品工業、鉱業の特化の度合いが小さい。

図9 業種における広島県及び中国地方の特化係数

(各特化係数は、平成22年基準の付加価値額ウェイトにより算出)



生産 (付加価値額) ウェイト	鉄鋼業	非鉄金属 工業	金属製品 工業	一般機械 工業(総合)	電気・情報 通信機械 工業	電子部品・ デバイス 工業	輸送機械 工業	窯業・土石 製品工業	化学工業	プラスチック 製品工業	パルプ・紙・ 紙加工工 業	繊維工業	食料品・ たばこ 工業	木材・ 木製品 工業	ゴム製品 工業	家具工業	その他 製品工業	鉱業
広島	778.5	454.1	241.6	1526.6	589.9	635.9	3467.7	157.0	447.1	604.6	118.1	217.7	357.0	132.8	139.2	57.8	72.5	1.9
中国地方	768.6	268.0	361.1	1118.7	487.3	706.5	2351.6	189.3	1644.2	435.5	163.7	310.4	378.2	93.5	225.0	37.2	120.8	13.3
全国	391.1	232.5	418.1	1273.1	1121.1	818.6	1912.4	315.8	1277.4	507.5	203.6	183.4	613.9	58.4	161.0	67.3	247.9	21.1

(注)特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比

特化係数が1を超えると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に高いことを表し、特化係数が1を下回ると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に低いことを表す。

別表 広島県、中国地方及び全国の生産指数

(平成22年平均=100)

年・期・月	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成 20年	/	/	115.1	▲ 6.0	/	/	112.0	▲ 2.9	/	/	110.7	▲ 3.4
21年			86.2	▲ 25.1			88.1	▲ 21.3			86.5	▲ 21.9
22年			100.0	16.0			100.0	13.5			100.0	15.6
23年			99.9	▲ 0.1			98.9	▲ 1.1			97.2	▲ 2.8
24年			101.9	2.0			94.6	▲ 4.3			97.8	0.6
25年			102.1	0.2			95.4	0.8			97.0	▲ 0.8
26年			104.5	2.4			97.7	2.4			99.0	2.1
27年			108.7	4.0			97.8	0.1			97.8	▲ 1.2
28年			110.1	1.3			97.1	▲ 0.7			97.7	▲ 0.1
29年			110.5	0.4			99.5	2.5			102.0	4.4
平成 20年 I 期	122.4	▲ 2.9	124.2	▲ 0.5	116.9	▲ 0.8	118.8	2.1	116.8	0.3	116.9	2.9
II 期	120.2	▲ 1.8	116.8	▲ 1.8	116.7	▲ 0.2	113.7	2.4	114.8	▲ 1.7	111.9	0.6
III 期	114.8	▲ 4.5	117.0	▲ 3.7	113.8	▲ 2.5	114.4	▲ 0.4	110.5	▲ 3.7	112.0	▲ 1.8
IV 期	102.0	▲ 11.1	102.5	▲ 17.6	99.5	▲ 12.6	101.1	▲ 15.1	99.8	▲ 9.7	102.0	▲ 14.6
21年 I 期	76.5	▲ 25.0	76.6	▲ 38.3	79.9	▲ 19.7	79.7	▲ 32.9	79.3	▲ 20.5	78.1	▲ 33.2
II 期	83.1	8.6	80.4	▲ 31.2	84.9	6.3	82.8	▲ 27.2	83.5	5.3	81.4	▲ 27.3
III 期	91.6	10.2	93.7	▲ 19.9	93.1	9.7	93.9	▲ 17.9	88.6	6.1	89.9	▲ 19.7
IV 期	93.8	2.4	94.2	▲ 8.1	94.6	1.6	96.1	▲ 4.9	94.9	7.1	96.6	▲ 5.3
22年 I 期	100.1	6.7	99.6	30.0	97.5	3.1	97.0	21.7	98.8	4.1	97.5	24.8
II 期	99.2	▲ 0.9	95.9	19.3	100.8	3.4	98.4	18.8	99.8	1.0	97.4	19.7
III 期	98.1	▲ 1.1	101.1	7.9	100.6	▲ 0.2	102.0	8.6	101.1	1.3	103.0	14.6
IV 期	103.2	5.2	103.5	9.9	101.3	0.7	102.7	6.9	100.7	▲ 0.4	102.1	5.7
23年 I 期	99.7	▲ 3.4	98.6	▲ 1.0	99.6	▲ 1.7	98.6	1.6	96.9	▲ 3.8	95.2	▲ 2.4
II 期	98.1	▲ 1.6	95.3	▲ 0.6	98.2	▲ 1.4	96.1	▲ 2.3	92.9	▲ 4.1	91.0	▲ 6.6
III 期	102.0	4.0	104.9	3.8	100.5	2.3	102.1	0.1	99.5	7.1	101.3	▲ 1.7
IV 期	100.8	▲ 1.2	100.8	▲ 2.6	98.0	▲ 2.5	98.9	▲ 3.7	100.5	1.0	101.2	▲ 0.9
24年 I 期	101.7	0.9	102.5	4.0	96.3	▲ 1.7	96.9	▲ 1.7	101.3	0.8	101.5	6.6
II 期	103.6	1.9	101.0	6.0	95.1	▲ 1.2	93.4	▲ 2.8	99.1	▲ 2.2	97.2	6.8
III 期	101.1	▲ 2.4	103.9	▲ 1.0	94.0	▲ 1.2	95.4	▲ 6.6	95.9	▲ 3.2	97.3	▲ 3.9
IV 期	99.7	▲ 1.4	100.2	▲ 0.6	92.5	▲ 1.6	92.6	▲ 6.4	94.1	▲ 1.9	95.2	▲ 5.9
25年 I 期	101.8	2.1	101.4	▲ 1.1	93.2	0.8	92.5	▲ 4.5	94.6	0.5	93.6	▲ 7.8
II 期	102.0	0.2	99.6	▲ 1.4	94.1	1.0	92.3	▲ 1.2	96.1	1.6	94.3	▲ 3.0
III 期	100.4	▲ 1.6	102.5	▲ 1.3	95.9	1.9	97.1	1.8	97.8	1.8	99.5	2.3
IV 期	104.3	3.9	104.7	4.5	98.5	2.7	99.7	7.7	99.6	1.8	100.7	5.8
26年 I 期	105.9	1.5	105.7	4.2	98.9	0.4	97.9	5.8	101.9	2.3	101.3	8.2
II 期	105.0	▲ 0.8	102.5	2.9	98.2	▲ 0.7	96.1	4.1	98.8	▲ 3.0	96.8	2.7
III 期	104.8	▲ 0.2	106.9	4.3	97.3	▲ 0.9	99.1	2.1	97.4	▲ 1.4	98.7	▲ 0.8
IV 期	102.4	▲ 2.3	102.7	▲ 1.9	96.9	▲ 0.4	97.9	▲ 1.8	98.2	0.8	99.2	▲ 1.5
27年 I 期	108.4	5.9	108.0	2.2	99.6	2.8	98.8	0.9	99.3	1.1	99.0	▲ 2.3
II 期	109.0	0.6	106.9	4.3	97.8	▲ 1.8	95.3	▲ 0.8	98.0	▲ 1.3	96.0	▲ 0.8
III 期	108.8	▲ 0.2	110.9	3.7	97.1	▲ 0.7	98.8	▲ 0.3	97.0	▲ 1.0	97.8	▲ 0.9
IV 期	108.7	▲ 0.1	109.2	6.3	96.9	▲ 0.2	98.1	0.2	97.1	0.1	98.4	▲ 0.8
28年 I 期	109.9	1.1	111.6	3.3	98.3	1.4	99.8	1.0	96.2	▲ 0.9	97.6	▲ 1.4
II 期	107.9	▲ 1.8	105.0	▲ 1.8	95.1	▲ 3.3	92.5	▲ 2.9	96.5	0.3	94.3	▲ 1.8
III 期	111.2	3.1	112.4	1.4	96.6	1.6	97.3	▲ 1.5	98.0	1.6	98.2	0.4
IV 期	112.6	1.3	111.5	2.1	98.4	1.9	98.7	0.6	99.8	1.8	100.5	2.1
29年 I 期	111.6	▲ 0.9	112.6	0.9	99.5	1.1	101.0	1.2	100.0	0.2	101.0	3.5
II 期	109.9	▲ 1.5	107.1	2.0	98.0	▲ 1.5	95.6	3.4	101.8	1.8	99.6	5.6
III 期	109.6	▲ 0.3	111.0	▲ 1.2	99.1	1.1	99.7	2.5	102.3	0.5	102.1	4.0
IV 期	110.4	0.7	111.3	▲ 0.2	101.3	2.2	101.8	3.1	103.9	1.6	105.1	4.6
平成 20年 1月	121.7	▲ 4.8	113.2	▲ 2.7	116.0	▲ 2.6	111.5	▲ 0.2	117.0	0.5	108.5	3.2
2月	125.2	2.9	124.0	8.6	117.7	1.5	118.7	7.9	117.3	0.3	117.0	5.9
3月	120.3	▲ 3.9	135.3	▲ 5.9	116.9	▲ 0.7	126.1	▲ 1.1	116.2	▲ 0.9	125.3	0.2

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国				
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	
平成20年	4月	123.0	2.2	116.0	▲ 0.2	118.1	1.0	114.2	3.9	115.5	▲ 0.6	111.0	1.6
	5月	117.7	▲ 4.3	110.7	▲ 5.7	117.0	▲ 0.9	110.7	1.2	116.1	0.5	108.7	0.6
	6月	119.9	1.9	123.8	0.6	115.1	▲ 1.6	116.1	2.2	112.9	▲ 2.8	115.9	▲ 0.3
	7月	116.6	▲ 2.8	123.5	▲ 1.0	115.5	0.3	119.5	2.0	112.7	▲ 0.2	117.9	2.3
	8月	116.1	▲ 0.4	108.2	▲ 6.1	113.6	▲ 1.6	107.7	▲ 2.9	108.7	▲ 3.5	101.2	▲ 7.8
	9月	111.8	▲ 3.7	119.3	▲ 4.3	112.2	▲ 1.2	116.1	▲ 0.4	110.0	1.2	116.9	0.0
	10月	113.5	1.5	114.6	▲ 6.4	110.7	▲ 1.3	111.1	▲ 4.6	107.4	▲ 2.4	111.7	▲ 7.7
	11月	103.9	▲ 8.5	103.4	▲ 16.7	97.8	▲ 11.7	98.3	▲ 17.5	100.2	▲ 6.7	100.6	▲ 16.6
	12月	88.5	▲ 14.8	89.4	▲ 29.4	89.9	▲ 8.1	94.0	▲ 22.8	91.9	▲ 8.3	93.7	▲ 19.9
平成21年	1月	72.8	▲ 17.7	67.4	▲ 40.5	78.0	▲ 13.2	74.4	▲ 33.3	83.8	▲ 8.8	76.6	▲ 29.4
	2月	74.6	2.5	70.7	▲ 43.0	79.9	2.4	76.7	▲ 35.4	76.6	▲ 8.6	73.5	▲ 37.2
	3月	82.0	9.9	91.8	▲ 32.2	81.8	2.4	88.1	▲ 30.1	77.6	1.3	84.3	▲ 32.7
	4月	78.9	▲ 3.8	74.1	▲ 36.1	83.0	1.5	80.0	▲ 29.9	81.0	4.4	77.7	▲ 30.0
	5月	87.1	10.4	80.3	▲ 27.5	85.7	3.3	80.6	▲ 27.2	84.0	3.7	77.3	▲ 28.9
	6月	83.4	▲ 4.2	86.7	▲ 30.0	86.1	0.5	87.7	▲ 24.5	85.6	1.9	89.3	▲ 23.0
	7月	92.1	10.4	98.2	▲ 20.5	93.5	8.6	97.4	▲ 18.5	86.7	1.3	91.3	▲ 22.6
	8月	89.5	▲ 2.8	84.1	▲ 22.3	91.4	▲ 2.2	87.0	▲ 19.2	88.0	1.5	82.3	▲ 18.7
	9月	93.2	4.1	98.9	▲ 17.1	94.4	3.3	97.4	▲ 16.1	91.0	3.4	96.1	▲ 17.8
	10月	95.1	2.0	95.1	▲ 17.0	96.6	2.3	96.5	▲ 13.1	93.3	2.5	95.7	▲ 14.3
	11月	92.9	▲ 2.3	93.5	▲ 9.6	94.4	▲ 2.3	95.3	▲ 3.1	95.3	2.1	96.6	▲ 4.0
	12月	93.4	0.5	94.1	5.3	92.8	▲ 1.7	96.5	2.7	96.1	0.8	97.6	4.2
平成22年	1月	98.6	5.6	90.8	34.7	97.3	4.8	92.1	23.8	98.5	2.5	88.8	15.9
	2月	101.0	2.4	95.2	34.7	97.3	0.0	93.1	21.4	98.9	0.4	94.7	28.8
	3月	100.8	▲ 0.2	112.7	22.8	97.9	0.6	105.7	20.0	99.1	0.2	108.9	29.2
	4月	101.8	1.0	95.3	28.6	100.8	3.0	96.8	21.0	100.2	1.1	96.2	23.8
	5月	99.8	▲ 2.0	92.0	14.6	101.3	0.5	95.4	18.4	100.0	▲ 0.2	92.1	19.1
	6月	96.1	▲ 3.7	100.3	15.7	100.4	▲ 0.9	102.9	17.3	99.2	▲ 0.8	103.9	16.3
	7月	98.9	2.9	104.9	6.8	101.9	1.5	106.0	8.8	100.3	1.1	104.8	14.8
	8月	96.1	▲ 2.8	91.6	8.9	99.9	▲ 2.0	96.1	10.5	100.7	0.4	95.7	16.3
	9月	99.4	3.4	106.8	8.0	100.0	0.1	103.8	6.6	102.3	1.6	108.4	12.8
	10月	100.2	0.8	99.2	4.3	99.6	▲ 0.4	99.1	2.7	99.4	▲ 2.8	100.3	4.8
	11月	104.9	4.7	106.1	13.5	102.4	2.8	103.6	8.7	101.0	1.6	103.2	6.8
	12月	104.5	▲ 0.4	105.1	11.7	102.0	▲ 0.4	105.4	9.2	101.6	0.6	102.9	5.4
平成23年	1月	104.9	0.4	97.8	7.7	102.3	0.3	96.9	5.2	102.1	0.5	92.7	4.4
	2月	106.2	1.2	100.1	5.1	102.3	0.0	97.5	4.7	102.7	0.6	98.5	4.0
	3月	87.9	▲ 17.2	97.8	▲ 13.2	94.1	▲ 8.0	101.5	▲ 4.0	85.8	▲ 16.5	94.4	▲ 13.3
	4月	90.8	3.3	84.7	▲ 11.1	95.1	1.1	90.8	▲ 6.2	87.6	2.1	83.3	▲ 13.4
	5月	100.0	10.1	92.5	0.5	98.8	3.9	93.6	▲ 1.9	93.6	6.8	87.4	▲ 5.1
	6月	103.6	3.6	108.8	8.5	100.7	1.9	103.9	1.0	97.5	4.2	102.4	▲ 1.4
	7月	101.5	▲ 2.0	106.6	1.6	100.0	▲ 0.7	103.8	▲ 2.1	98.7	1.2	102.1	▲ 2.6
	8月	103.0	1.5	99.4	8.5	101.0	1.0	98.1	2.1	100.4	1.7	96.7	1.0
	9月	101.5	▲ 1.5	108.8	1.9	100.6	▲ 0.4	104.3	0.5	99.5	▲ 0.9	105.1	▲ 3.0
	10月	100.2	▲ 1.3	98.7	▲ 0.5	98.7	▲ 1.9	98.3	▲ 0.8	101.3	1.8	101.8	1.5
	11月	101.1	0.9	102.1	▲ 3.8	98.0	▲ 0.7	98.8	▲ 4.6	99.1	▲ 2.2	100.7	▲ 2.4
	12月	101.2	0.1	101.5	▲ 3.4	97.3	▲ 0.7	99.6	▲ 5.5	101.1	2.0	101.0	▲ 1.8
平成24年	1月	101.5	0.3	94.3	▲ 3.6	96.0	▲ 1.3	90.7	▲ 6.4	101.5	0.4	92.8	0.1
	2月	101.2	▲ 0.3	100.4	0.3	96.5	0.5	96.5	▲ 1.0	101.3	▲ 0.2	101.5	3.0
	3月	102.3	1.1	112.9	15.4	96.4	▲ 0.1	103.6	2.1	101.1	▲ 0.2	110.1	16.6
	4月	104.9	2.5	98.1	15.8	95.9	▲ 0.5	91.6	0.9	100.6	▲ 0.5	95.9	15.1
	5月	100.9	▲ 3.8	94.8	2.5	94.2	▲ 1.8	90.2	▲ 3.6	98.8	▲ 1.8	94.0	7.6
	6月	105.0	4.1	110.2	1.3	95.3	1.2	98.3	▲ 5.4	98.0	▲ 0.8	101.8	▲ 0.6
	7月	99.6	▲ 5.1	104.8	▲ 1.7	93.2	▲ 2.2	97.3	▲ 6.3	97.5	▲ 0.5	102.2	0.1
	8月	103.9	4.3	100.6	1.2	96.5	3.5	94.0	▲ 4.2	96.1	▲ 1.4	92.7	▲ 4.1
	9月	99.8	▲ 3.9	106.4	▲ 2.2	92.2	▲ 4.5	94.9	▲ 9.0	94.0	▲ 2.2	97.1	▲ 7.6

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成24年10月	99.2	▲ 0.6	98.5	▲ 0.2	94.0	2.0	91.8	▲ 6.6	94.3	0.3	97.0	▲ 4.7
11月	98.7	▲ 0.5	100.7	▲ 1.4	91.7	▲ 2.4	92.7	▲ 6.2	93.4	▲ 1.0	95.2	▲ 5.5
12月	101.3	2.6	101.3	▲ 0.2	91.8	0.1	93.2	▲ 6.4	94.7	1.4	93.3	▲ 7.6
平成25年1月	100.5	▲ 0.8	93.5	▲ 0.8	92.6	0.9	88.0	▲ 3.0	94.0	▲ 0.7	86.9	▲ 6.4
2月	103.4	2.9	99.6	▲ 0.8	93.9	1.4	90.4	▲ 6.3	94.8	0.9	91.4	▲ 10.0
3月	101.6	▲ 1.7	111.2	▲ 1.5	93.2	▲ 0.7	99.1	▲ 4.3	95.1	0.3	102.4	▲ 7.0
4月	103.7	2.1	99.0	0.9	96.2	3.2	92.9	1.4	95.7	0.6	92.8	▲ 3.2
5月	103.6	▲ 0.1	97.8	3.2	95.0	▲ 1.2	91.1	1.0	97.7	2.1	93.1	▲ 1.0
6月	98.7	▲ 4.7	102.1	▲ 7.4	91.0	▲ 4.2	92.9	▲ 5.5	95.0	▲ 2.8	97.0	▲ 4.7
7月	104.7	6.1	112.2	7.1	97.9	7.6	102.9	5.8	97.6	2.7	104.1	1.9
8月	97.7	▲ 6.7	92.4	▲ 8.2	94.5	▲ 3.5	90.7	▲ 3.5	97.1	▲ 0.5	92.1	▲ 0.6
9月	98.7	1.0	103.0	▲ 3.2	95.4	1.0	97.8	3.1	98.6	1.5	102.2	5.3
10月	108.6	10.0	107.9	9.5	100.1	4.9	100.5	9.5	99.2	0.6	102.2	5.4
11月	103.3	▲ 4.9	104.9	4.2	98.7	▲ 1.4	100.4	8.3	99.5	0.3	99.8	4.8
12月	100.9	▲ 2.3	101.3	0.0	96.7	▲ 2.0	98.3	5.5	100.0	0.5	100.0	7.2
平成26年1月	107.3	6.3	100.7	7.7	100.6	4.0	96.2	9.3	103.2	3.2	96.2	10.7
2月	105.8	▲ 1.4	102.4	2.8	98.2	▲ 2.4	94.2	4.2	101.0	▲ 2.1	97.8	7.0
3月	104.7	▲ 1.0	114.1	2.6	97.9	▲ 0.3	103.4	4.3	101.5	0.5	110.0	7.4
4月	103.5	▲ 1.1	98.5	▲ 0.5	97.1	▲ 0.8	94.0	1.2	99.2	▲ 2.3	96.2	3.7
5月	107.7	4.1	101.5	3.8	100.3	3.3	95.9	5.3	99.5	0.3	94.0	1.0
6月	103.7	▲ 3.7	107.4	5.2	97.3	▲ 3.0	98.3	5.8	97.6	▲ 1.9	100.1	3.2
7月	104.4	0.7	112.5	0.3	98.4	1.1	105.2	2.2	97.5	▲ 0.1	103.6	▲ 0.5
8月	104.0	▲ 0.4	96.3	4.2	98.3	▲ 0.1	94.1	3.7	96.7	▲ 0.8	89.3	▲ 3.0
9月	106.1	2.0	112.0	8.7	95.3	▲ 3.1	97.9	0.1	98.1	1.4	103.2	1.0
10月	105.6	▲ 0.5	108.1	0.2	97.9	2.7	99.9	▲ 0.6	98.5	0.4	101.7	▲ 0.5
11月	98.4	▲ 6.8	96.4	▲ 8.1	95.1	▲ 2.9	93.6	▲ 6.8	97.9	▲ 0.6	96.1	▲ 3.7
12月	103.3	5.0	103.7	2.4	97.7	2.7	100.2	1.9	98.1	0.2	99.9	▲ 0.1
平成27年1月	111.2	7.6	103.1	2.4	102.6	5.0	97.4	1.2	100.9	2.9	93.7	▲ 2.6
2月	107.9	▲ 3.0	105.0	2.5	98.3	▲ 4.2	94.4	0.2	98.7	▲ 2.2	95.5	▲ 2.4
3月	106.1	▲ 1.7	115.9	1.6	97.8	▲ 0.5	104.5	1.1	98.2	▲ 0.5	107.8	▲ 2.0
4月	108.1	1.9	102.8	4.4	97.8	0.0	94.6	0.6	98.9	0.7	96.0	▲ 0.2
5月	106.7	▲ 1.3	99.5	▲ 2.0	97.3	▲ 0.5	91.1	▲ 5.0	96.7	▲ 2.2	89.8	▲ 4.5
6月	112.1	5.1	118.3	10.1	98.2	0.9	100.1	1.8	98.3	1.7	102.2	2.1
7月	109.3	▲ 2.5	118.4	5.2	96.7	▲ 1.5	103.2	▲ 1.9	97.4	▲ 0.9	103.0	▲ 0.6
8月	109.2	▲ 0.1	100.5	4.4	96.8	0.1	92.1	▲ 2.1	96.7	▲ 0.7	88.5	▲ 0.9
9月	108.0	▲ 1.1	113.7	1.5	97.9	1.1	101.2	3.4	97.0	0.3	102.0	▲ 1.2
10月	110.3	2.1	112.9	4.4	96.9	▲ 1.0	97.9	▲ 2.0	98.2	1.2	100.1	▲ 1.6
11月	107.9	▲ 2.2	107.7	11.7	96.8	▲ 0.1	97.3	4.0	97.1	▲ 1.1	97.4	1.4
12月	107.9	0.0	106.9	3.1	96.9	0.1	99.2	▲ 1.0	95.9	▲ 1.2	97.8	▲ 2.1
平成28年1月	110.7	2.6	105.6	2.4	99.1	2.3	96.3	▲ 1.1	97.0	1.1	90.2	▲ 3.7
2月	110.7	0.0	111.3	6.0	98.0	▲ 1.1	97.5	3.3	95.3	▲ 1.8	94.5	▲ 1.0
3月	108.2	▲ 2.3	118.0	1.8	97.7	▲ 0.3	105.7	1.1	96.4	1.2	108.2	0.4
4月	110.9	2.5	105.2	2.3	98.3	0.6	94.5	▲ 0.1	96.8	0.4	92.9	▲ 3.2
5月	103.4	▲ 6.8	96.9	▲ 2.6	91.8	▲ 6.6	86.9	▲ 4.6	95.6	▲ 1.2	89.3	▲ 0.6
6月	109.4	5.8	112.8	▲ 4.6	95.2	3.7	96.2	▲ 3.9	97.0	1.5	100.6	▲ 1.6
7月	110.2	0.7	115.2	▲ 2.7	95.5	0.3	98.7	▲ 4.4	97.0	0.0	98.7	▲ 4.2
8月	112.4	2.0	105.6	5.1	97.1	1.7	93.6	1.6	98.3	1.3	92.5	4.5
9月	111.0	▲ 1.2	116.4	2.4	97.1	0.0	99.6	▲ 1.6	98.6	0.3	103.5	1.5
10月	111.7	0.6	112.3	▲ 0.5	96.7	▲ 0.4	95.7	▲ 2.2	98.9	0.3	98.9	▲ 1.2
11月	112.6	0.8	112.0	4.0	98.9	2.3	99.4	2.2	99.9	1.0	101.7	4.4
12月	113.6	0.9	110.2	3.1	99.5	0.6	100.9	1.7	100.6	0.7	100.8	3.1
平成29年1月	109.5	▲ 3.6	101.6	▲ 3.8	96.2	▲ 3.3	94.5	▲ 1.9	99.5	▲ 1.1	92.7	2.8
2月	109.3	▲ 0.2	108.6	▲ 2.4	98.9	2.8	96.6	▲ 0.9	100.5	1.0	98.6	4.3
3月	116.0	6.1	127.7	8.2	103.4	4.6	111.9	5.9	100.0	▲ 0.5	111.8	3.3

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成29年 4月	110.5	▲ 4.7	105.1	▲ 0.1	99.7	▲ 3.6	95.4	1.0	102.9	2.9	98.2	5.7
5月	109.4	▲ 1.0	102.2	5.5	95.3	▲ 4.4	91.3	5.1	100.7	▲ 2.1	94.8	6.2
6月	109.8	0.4	113.9	1.0	99.0	3.9	100.1	4.1	101.9	1.2	105.8	5.2
7月	109.5	▲ 0.3	114.6	▲ 0.5	99.3	0.3	102.6	4.0	101.6	▲ 0.3	103.1	4.5
8月	110.4	0.8	105.0	▲ 0.6	100.1	0.8	96.5	3.1	102.9	1.3	97.1	5.0
9月	108.9	▲ 1.4	113.5	▲ 2.5	97.9	▲ 2.2	99.9	0.3	102.3	▲ 0.6	106.1	2.5
10月	108.8	▲ 0.1	110.8	▲ 1.3	99.5	1.6	99.6	4.1	102.8	0.5	104.5	5.7
11月	111.4	2.4	113.5	1.3	102.4	2.9	103.0	3.6	103.5	0.7	105.4	3.6
12月	111.0	▲ 0.4	109.5	▲ 0.6	102.0	▲ 0.4	102.9	2.0	105.4	1.8	105.3	4.5

出所：中国地方 … 「中国地域鋁工業生産動向」（経済産業省中国经济産業局）

全 国 … 「鋁工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）